

36 オグロシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Limosa limosa

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパ中北部からシベリア、カムチャツカ、サハリン、中国北東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、河口、海岸に近い池沼や水田、泥地に生息する。主にゴカイ類、ミズ類、昆虫類や甲殻類などを採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★南あわじ市、淡路市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-10月に記録がある。かつては県南部で10-20羽の群れが普通に記録されていた。現在では、多くの生息地が消滅し、渡りの時期に単独個体が時々観察される程度である。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。